シーン① 平日は授業利用/休日・放課後は生涯学習利用ができる特別教室

・平日は授業で利用

・休日や放課後は、地域の誰もが楽しめる生涯学習の場として利用

■休日・放課後などに気兼ねなく利用できるスペースの確保

・入口を学校（普通教室等）と、図書館兼特別教室に分け、放課後、休日は壁で区切り、昼間は学校と図書館等が繋がっており、**学校がない時間にも勉強など出来るスペースや気軽に入れるスペース**があるとよい。
・図書室を一般利用するのはハードルが高い。司書ありの図書館であれば利用しやすい。
・学校を広くして、**図書館や自習室等の別玄関を設ける**とともに、学校、図書館、自習室といった**目的に合わせて間仕切りを活用する**ことで、休日にも利用できるようにする。

■保育園、小・中学校、高齢者在宅サービスセンターの複合化

・**保育園児、小・中学生、高齢者が行き来できるバリアフリーな施設**があるとよい。広大な敷地はないので、今の社会福祉協議会と学校を、エレベーターやエスカレーターでつなげではどうか。
・**子ども（保育園、小・中学校）と老人は同一施設に同居できる**とお互いの精神衛生にとってベスト。世の中の流れではないか。

■追加して欲しい機能

・学校で**話し合いの出来る場所**があると良い。
・図書館や**防音スタジオ**もあると良い。
・**子どもたちが学校以外でも学べる場所**があると良い。
・塾もないので、**子どもが勉強出来る環境**や、**大人も子どもも一緒にいられる空間**をつくる。※先行している自治体を参考にしてほしい。
※ハード整備も大切だが、どう利用するか**ソフト面をもっと充実できるとよい**。

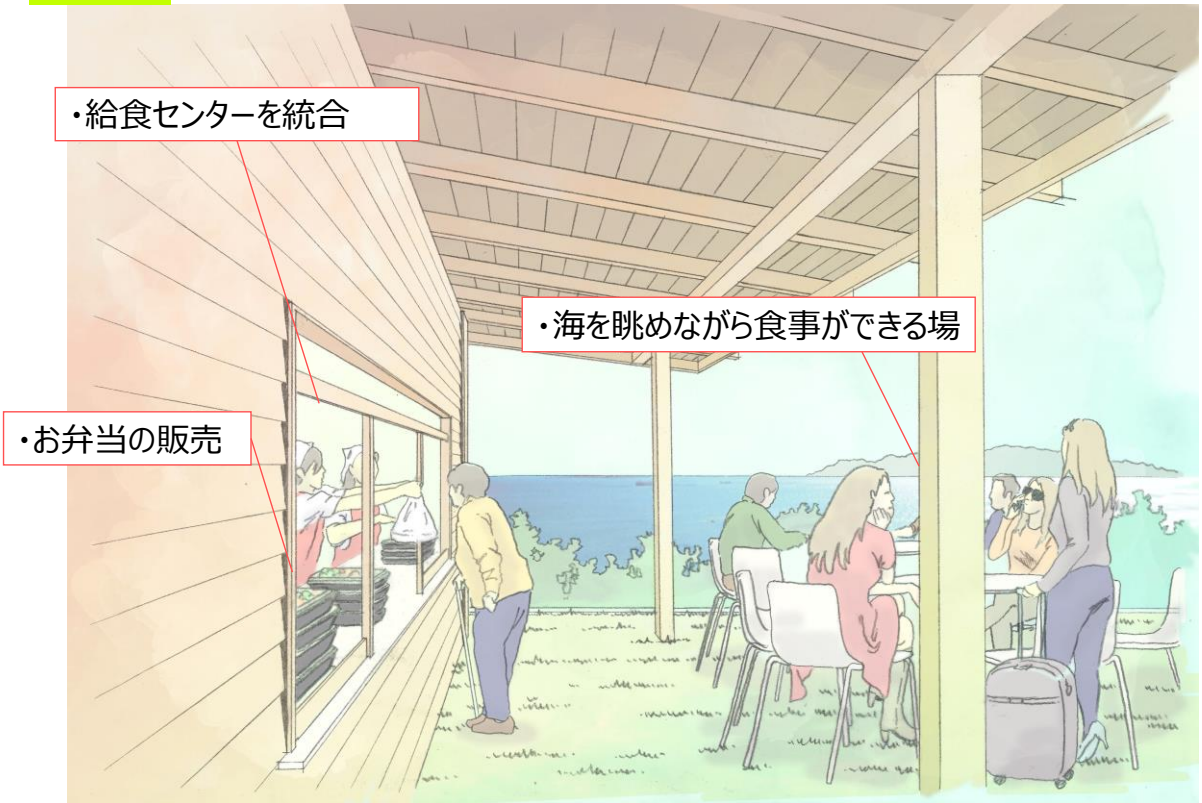
■通信教育

・**web 会議システムを使った通信教育**環境があるとよい。現状として、中学校を卒業すると島を出ることになる。賛否はあると思うが、通信環境があれば利島在住のまま通信制の高校に入学することも可能となる。

■その他

・生涯学習のスペースがあれば利用するが、如何せん教えてくれる先生が不在であり、継続できるかが問題。
・**芸術（生涯学習）を教えてくれる先生が必要**。
・他施設と統合されても学校へは行かない。**自分の子どもが卒業すると学校へは行かなくなって利用しづらい**。
・**学校は木造が良い**。鉄筋コンクリートの造りは水滴があり滑りやすく危険。

シーン② 給食センターを住民が利用し、海の風景が開けた場所で食事ができる場



■給食センター化

・給食施設の統合は、効率化が図れるので、人員体制が構築できるのであればよい。
・各施設への**配達**が問題。
・各施設の利用者層が異なることから、**子ども、児童、高齢者と食事のメニューが異なっている。それぞれに対応出来るならよい**。
・保育園、小・中学校では子供が食器を返却しに来てくれており、コミュニケーションが取れていたが、給食センターになると、**子どもとのコミュニケーションが取れなくなり、**交流がなくなるのは寂しい。
・**お弁当販売は島内で他にやっている方もいることから、難しい**のではないか。

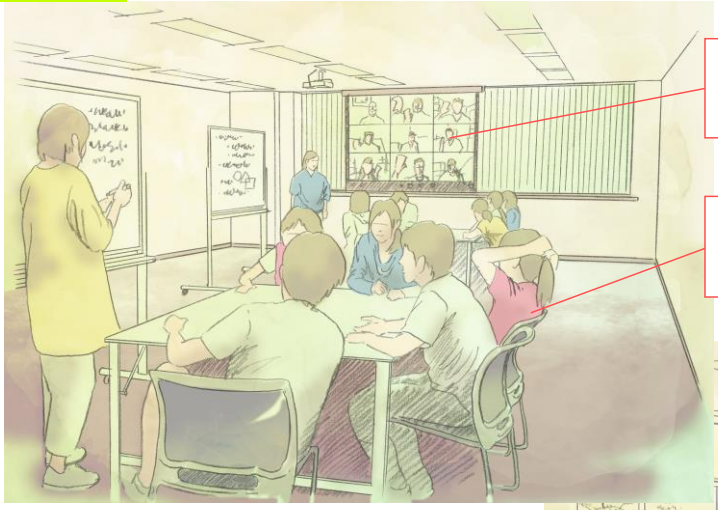
■売店・レストラン等の飲食機能

・居酒屋など宴会や**食事が出来る場所**があるとよい。
・観光客にも対応した海と山の見える**地産地消のカフェレストラン**ができるとよい。
（椿油の天ぷら、アジのぬた、こんにゃく料理、にぼしもち、寒汁など）
※自由競争によってつぶし合いになる可能性は配慮する。
・**西側浅橋前の施設**を利用して、**軽食が食べられる**ようにして欲しい。

■その他追加してほしい機能

・**入浴施設も併設**（隔日利用等）されればなお良い。
・**宿泊**できると良い。

シーン③ 別の学校とのWEBでのつながり/災害時には災害対策本部・内地との連携



・大型モニター、web会議システムの導入

・平日は会議等の他、島外の学校との交流等にも利用

・災害時には、災害対策本部として活用

・避難場所と分けて、災害対策本部を設置

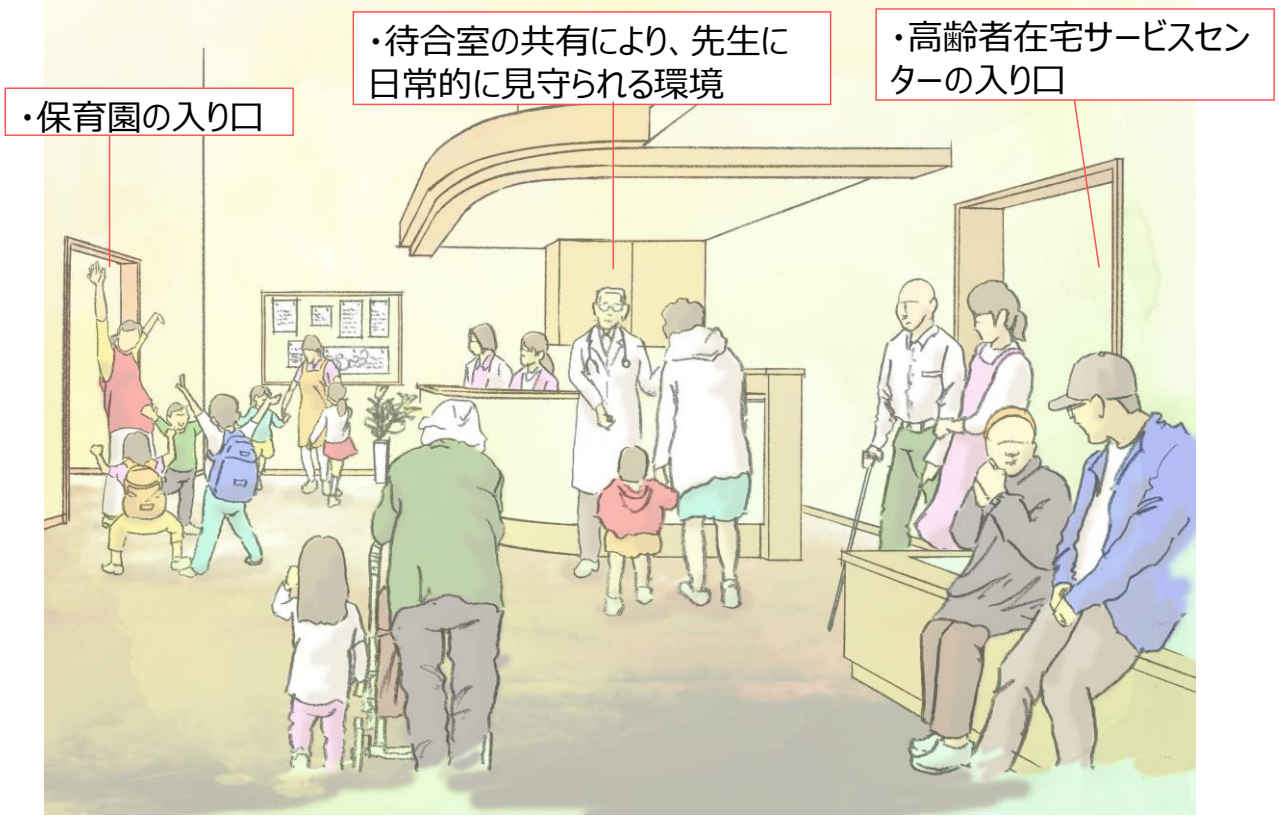
■庁舎の多層階化・複合化

・土地の高度利用が必要。**合同庁舎化**、**多層階化**。
・役場庁舎、診察所、デイホーム、学校、公民館等、また、災害対応可能な施設機能があるとよい。
・**庁舎は高層化**する。（１階役場、２階会議室、３・４階コミュニティセンター、談話室）
・例えば、1 階：高齢者福祉施設、郵便局、2 階：集いの場、3 階：保育園、4 階：学校、5 階：web 会議室、6 階：役場、7 階：住宅、B1 階：体育館 B2 階：サーバー などはどうか。
・**庁舎には**少人数で利用できる**集会施設、会議室等も併設**してほしい。
・大島には開発センターがあり、自由に出入りできる集会所がある。

■災害対策

・ 災害時の備蓄倉庫、防災対策室の設置。

シーン④ 日ごろから見守り見守られる関係を生み出す待合室



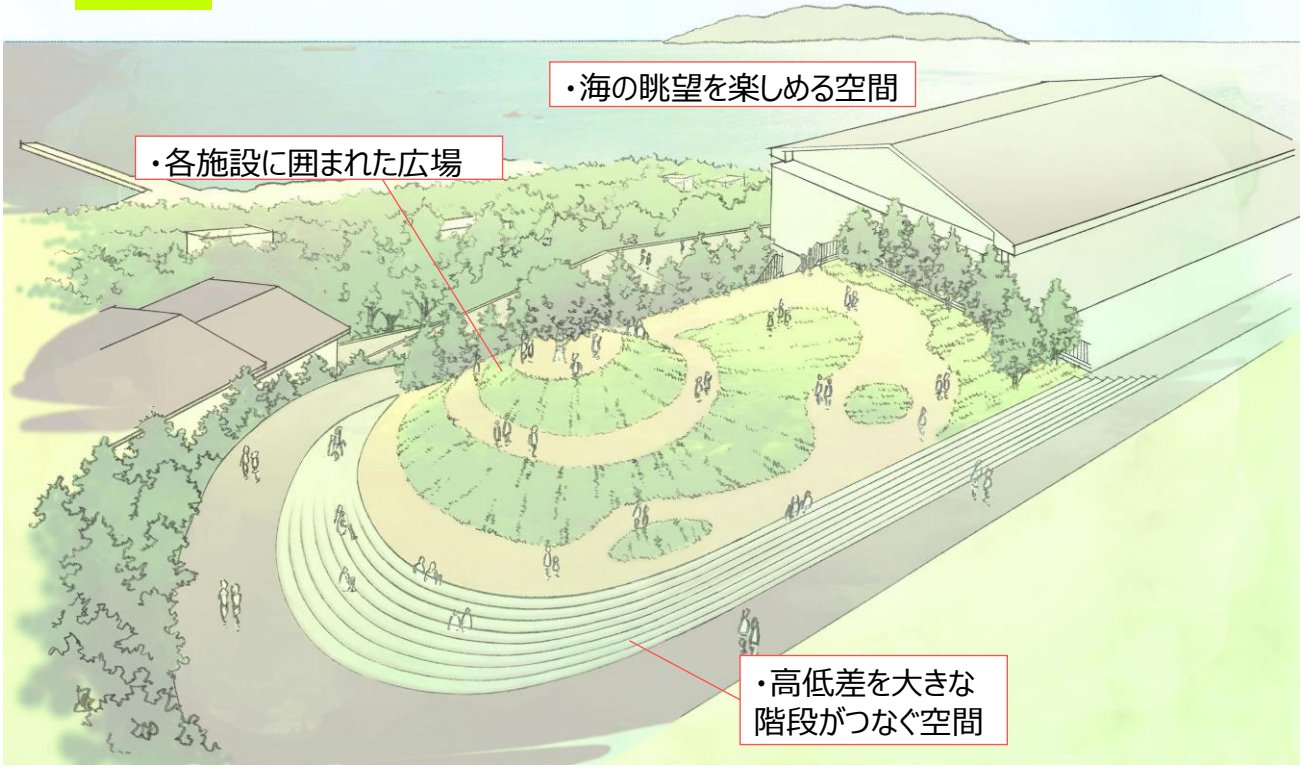
■診察所、保育園、高齢者在宅サービスセンターの複合化

・診察所、保育園、高齢者在宅サービスセンターを集約出来たらと思うが、どこの土地を使うか。
・診察所、**社会福祉協議会**、保育園の併設は良い。
・子どもや高齢者がすぐに診療所で診てもらえるのはよい。
・子どもと高齢者の交流は賛成だが、**病気で通院している人（子供、高齢者）への心理的配慮が必要**。
・**高齢者や子供が診療所の待合室を通っていくというのは、問題がある**と思う。**伝染病等への感染を考えると、入口が一緒は不安。**理想かもしないが、現実は難しいと思う。
・**医療施設とは別が良い。**保育園と介護施設は集約されても良い。

■保育園と学校の複合化

・**学校と保育園が一緒**の方がいいのではないか。（※先行している自治体を参考にしてほしい）
・**学校もセット**に。施設は隣り合っていても、**入り口はそれぞれ別**が良い。（校庭を挟んで学校・保育園、診療所・高齢者在宅サービスセンター）

シーン⑤ 各公共施設を有機的につなぎ人々の交流を生み出す広場とデッキ



■中心となる広場

・公園として利用するには土地が狭いのではないか。団欒するための広場としての利用になるかと思う。
・実際にあっても、広場に人は集まらないだろう。
・自慢できる売りになる施設（シンボル）が必要。
・維持が大変そう。
・**小中学校の南東部分に広場**を設けて学校やグラウンドから広場を通って、勤労福祉会館の方へ行けるようになるとよい。

その他

■建替えについて

・将来の人口構成にもよるが、現状で推移すると仮定しなければ、不要になる諸施設もあるのではないか。
・今ある**椿を減らさずに、できる限り機能を集約**すること。
・庁舎建替には、場所や石材が少ない。
・土地を有効活用するためには、建て替える順番などにも工夫が必要。

■その他複合化の案

・郷土資料館＋製油センター
・庁舎＋福祉会館（住民が使いやすいものを設置、ゲーム、会議室、ビデオセット）

■追加してほしい機能

・温泉施設があるとよい。
・特産品が買えるところがあるとよい。
・宿がないのでみんな朝の便できて昼の便で帰ってしまう。宿泊（民宿・旅館）施設が少ないので国民宿舎の様な、気軽に泊まれる場所があると良い。

■観光

・**山登り（富塚山）状況など、業者に依頼してホームページの充実**ができるとよい。観光客の立場になると、日々新しい情報が欲しいと思う。
・観光のためには人との交流が大切。
・観光客は歓迎する（椿の**農業体験などのプログラムの提供は可能**）

■その他

・イラスト化してしまうと、こうした施設が新たにできるというイメージが先行してしまう恐れがあるので留意してほしい。
・この島はほとんどＩターン者であり、今後もっと多くなることを考えると、**若い人やＩターン（JA、郵便局）の人に意見を聞くべき**。彼らこそ、家と職場の往復だけでさみしいのではないか。
・地域の産業である椿産業、漁業を盛り上げないとダメ。